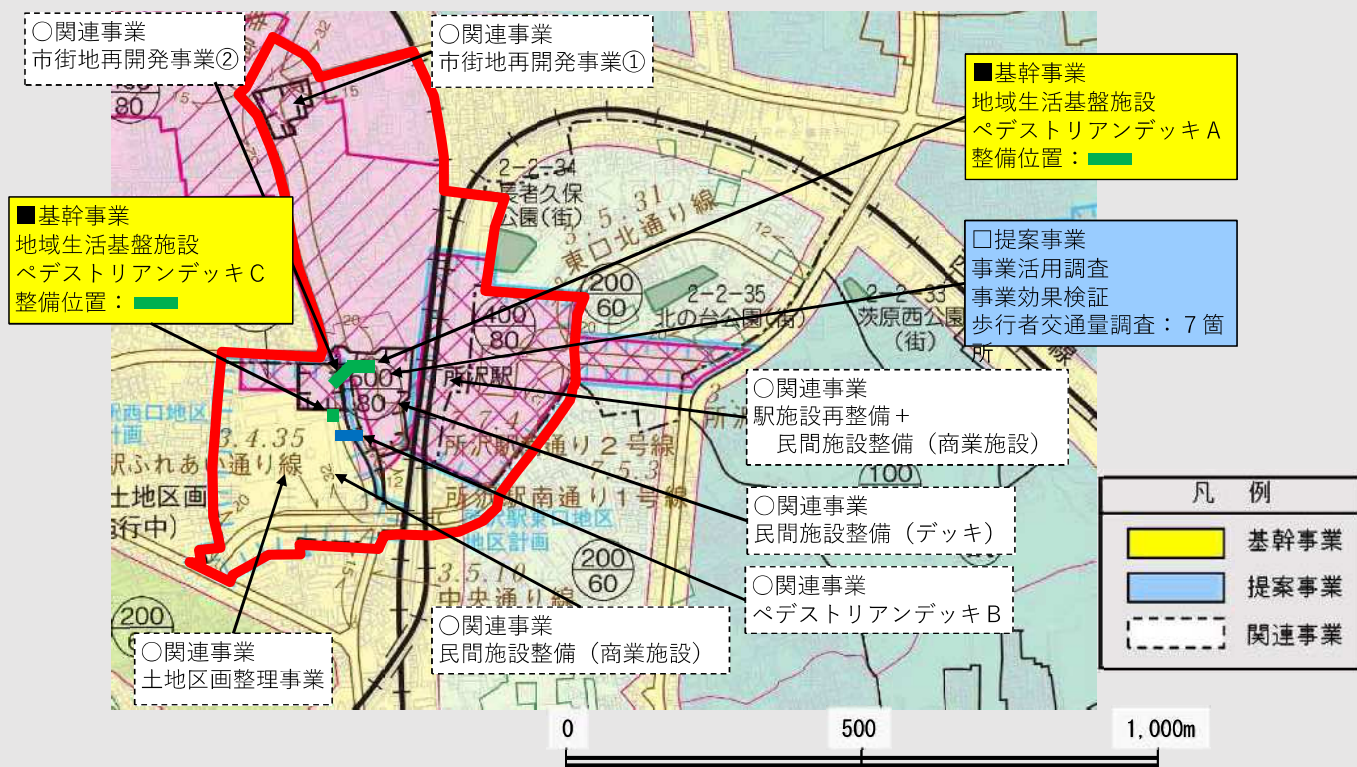


2



計画の名称	所沢駅周辺地区都市再生整備計画
計画の期間	令和1年度～令和5年度（5年間）
交付対象	所沢市
計画の目標	所沢駅周辺地区におけるまちづくりの将来像である「市の表玄関にふさわしい魅力と活力あふれる新生活拠点」として、様々な多くの人が集まり、楽しく行き交い、また安心してくらすことのできるまちを実現するため、計画的な土地利用誘導と市街地開発事業を推進する。
定量的指標①	地域内回遊者数の増加
定量的指標②	歩行時間の短縮



平成21年に策定した『所沢駅周辺まちづくり基本構想』の将来像『市の表玄関にふさわしい魅力と活力あふれる新生活拠点』実現のため、計画の目標を設定しました。定量的指標は、目標の達成度合いを図るため設定しています。所沢駅周辺を結ぶ歩行者ネットワークの形成による、まちの利便性・回遊性の向上で2つの指標を定めました。

①地区内回遊者数	12,670人/h（H28）から37,000人/h（R05）に増加			
定量的指標の定義及び算定式	地区内を回遊する歩行者空間における休日ピーク1時間の歩行者数の調査により算定する。			
交付対象事業の効果の発現状況	都市再生整備計画事業で2つのペDESTリアンデッキを整備したことにより、所沢駅周辺を結ぶ歩行者ネットワークが形成され、利便性・回遊性が向上した。			
指標の達成状況	目標値	37,000人/h	実績値	16,329人/h
目標値と実績値に差が出た要因	所沢駅西口地区への来訪者は増加したが、想定していた回遊ルートを行く歩行者が少なく、駅から新規開業の商業施設への往復だけの歩行者が多いため。理由として、北側のデッキが駅に直結していない構造であることや、人の集まる場所が少ないことが考えられる。			

令和6年3月末時点の所沢駅周辺の歩行者を集計し、実績値を算出しました。結果、目標値37,000人/hに対し実績値16,329人/hと目標を下回る結果となりました。

北側のデッキが駅に直結していない構造であることや、人の集まる場所が少ないため回遊者が想定より少ないことが考えられます。令和6年度末に行った、所沢駅西口駅前広場に関するアンケート調査では、「人が集まることのできる場所を整備してほしい（ベンチ、子どもの遊び場等）」等の声が多くあがっています。

②歩行時間	616秒（10m16s）（H30）から526秒（8m46s）（R05）に短縮			
定量的指標の定義及び算定式	所沢村山線沿いにある金融機関から所沢駅中央改札口までの歩行時間により算定する。			
交付対象事業の効果の発現状況	歩行空間が整備されることにより、歩行時間が短縮され利便性・安全性が向上した。			
指標の達成状況	目標値	526秒（8m46s）	実績値	484秒（8m4s）
目標値と実績値に差が出た要因	ペDESTロリアンデッキの整備により、歩行空間が確保されるほか、信号待ち時間がなくなるため			

歩行時間については、所沢村山線沿いにある金融機関から所沢駅中央改札口までの歩行時間により算定しています。ペDESTロリアンデッキによる歩行空間の重層化により歩行時間が短縮され利便性・安全性が向上しました。